

令和5年度 第3回データサイエンス学習会 ～社会学の視点から『問い』を探究する～
実施要項

- 1 目的 社会学的なデータサイエンスに基づいて、問いや仮説などを設定し、それを明らかにするためのアンケート調査などを行っている授業実践（総合的な探究の時間）を参観することにより、今後の教育活動においてデータサイエンスを活用するための方法や、データサイエンスを学ぶ意義について考える。
- 2 主催 福井県教育総合研究所
- 3 期日 令和5年12月13日（水）
- 4 会場 福井県立金津高等学校
あわら市市姫4丁目5-1 0776-73-1255
- 5 受講対象者 希望する県立学校教員および中学校教員等
※過去のデータサイエンス学習会への参加の有無は問いません。
- 6 日程および内容
12:30 ～ 13:00 受付

13:10 ～ 13:55 公開授業（第2学年 総合的な探究の時間 グループ別探究活動）
授業内容：アンケート調査の結果分析 など
アンケート調査の分析を行っているグループを中心に、生徒の探究活動の様子を自由に参観していただきます。

14:05 ～ 14:50 授業研究会
講師：滋賀大学データサイエンス学部 准教授 伊達平和 氏
- 7 講師紹介
伊達 平和（だて へいわ）氏
滋賀大学データサイエンス学部准教授。教育総合研究所特別研究員。京都大学教育学研究科にて学士・修士・博士を取得。日本学術振興会 特別研究員（PD）や、京都大学文学部・文学研究科非常勤講師等を経て現職。専門分野は、教育社会学・家族社会学・比較社会学・社会調査。
- 8 申込方法・申込〆切
右記QRコードまたは下記URLからGoogleフォームを開き、必要事項を記入の上、12月6日（水）までにお申込みください。
URL：<https://forms.gle/XMi6baLX5otyGTQi7>



— お問い合わせ先 —

教科研究センター 新教育課題研究課 高野（内線209）
TEL：0776-58-2170（直通）
E-mail：k-takano-fi@ma.fukui-ed.jp